

～美ら島の未来を拓く～
農業農村整備

みじ くがに
水や黄金

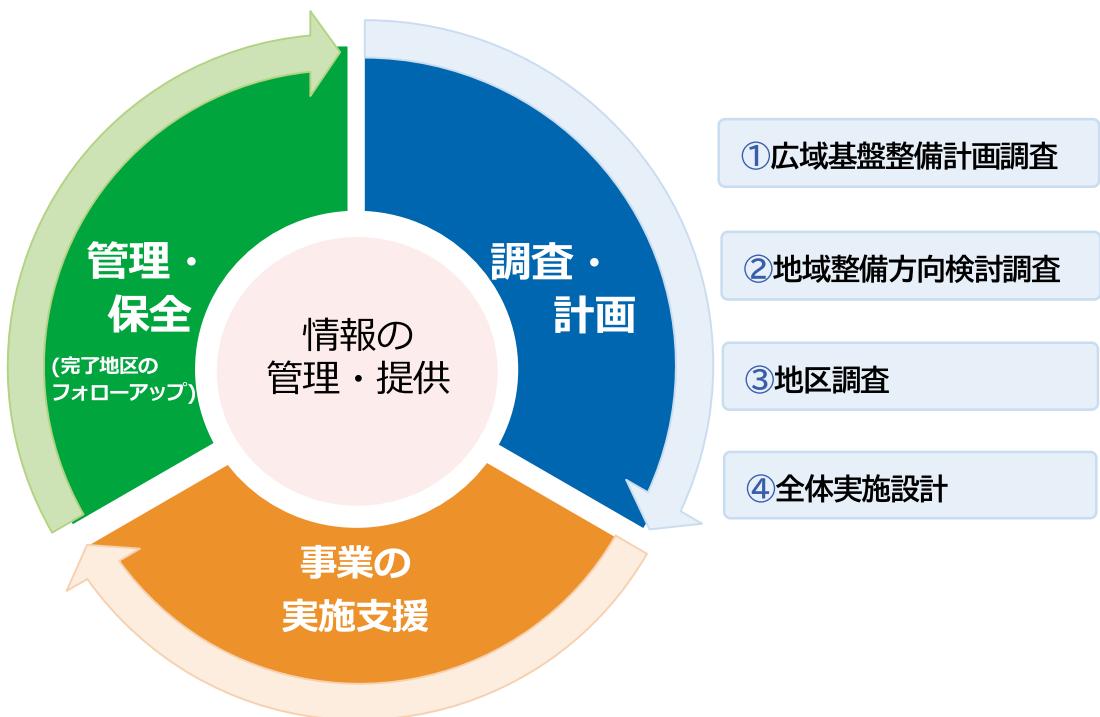
令和7年版



内閣府沖縄総合事務局 土地改良総合事務所

土地改良総合事務所の業務内容

土地改良総合事務所では、沖縄の地域特性を生かした農業振興を図るため、国営土地改良事業の「調査・計画」、「事業の実施支援」、「管理（完了地区的フォローアップ）・保全」について、一貫して取り組んでいます。



① 広域基盤整備計画調査

複数の国営地区を有する広域農業地域において、地域の現状分析を行い、施設の長寿命化に配慮した更新整備計画、水利用計画、環境・景観配慮基本方針等で構成される広域基盤整備計画を策定。

② 地域整備方向検討調査

地域の現況や課題を踏まえ、国営事業実施地区の範囲を概定したうえで、整備構想の策定、事業費・事業効果の概略算定、地元意向の確認を行い、地区調査実施の可能性を検討。

③ 地区調査

国営かんがい排水事業等の実施予定地区において、事業実施の必要性、技術的可能性、経済的妥当性等について検討を行い、事業計画書(案)を作成。

④ 全体実施設計

工事計画に係る詳細な設計(事業着手後の総事業費の著しい変動を防止)、計画的な事業管理に必要な設計等を実施。

⑤ 事業の実施支援

国営事業所への設計・積算・施工に関する技術的な支援、管内職員を対象とした技術研修の開催。

⑥ 広域農業基盤整備管理調査

地域の農業基盤に関する情報収集、事業完了地区における課題の把握及び対策手法の検討、事後評価調査を実施。

⑦ 保全対策

国営造成施設の機能診断及び機能保全計画の策定。

情報の管理・提供

- ・情報の収集・分析・評価及び対応の検討。
- ・調査計画・管理を通じて得られる情報のシステム化
- ・各種土地改良事業の円滑な推進に資する情報の提供。

防止と高収益作物の導入を目指して～

農業農村整備事業の必要性

台風や干ばつなど厳しい自然条件の中で農業を営む沖縄において、農業農村整備事業により農業インフラである地下ダムなどの水源・かんがい施設やほ場の整備などを行い、生産性の高い農業の実現や労力節減により、農業経営の安定を図ります。

水源・かんがい施設整備

農業用水の安定供給により、作物の安定生産・収量増加や散水労力の軽減が図れます。



スプリンクラーによる散水(さとうきび)



かんがいの効果



点滴チューブによる散水(にんじん)

収穫量も増え、干ばつ被害も減ったよ。安定的に散水できるから、野菜なども作れるようになったよ。



整備前（給水運搬によるかん水）

かんがい施設が整備されると



整備後（スプリンクラーによる散水）

水かけ作業がとても楽になったよ。



ほ場の整備（区画整理）

区画整理により、大型機械化による生産性の向上、労力の軽減につながります。



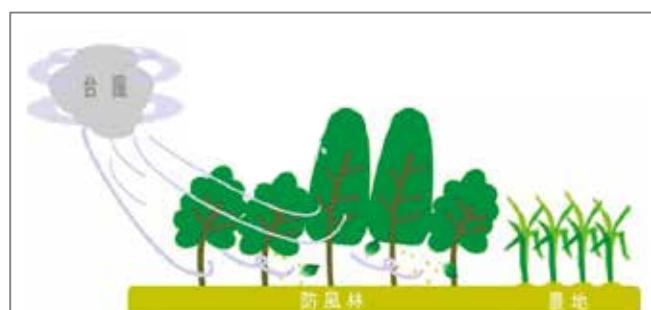
事業実施前(昭和 49 年撮影)



事業実施後(平成 22 年撮影：伊是名村川口地区)

防風林整備

防風林の設置により、台風や季節風の力を弱め、農作物の被害が軽減されます。



★ 新たなチャレンジ！

これまでさとうきびの栽培のみ

かん水作業が楽になり、時間に余裕ができたので野菜の栽培も開始

付加価値をつけるため生産物を加工(6次産業化)

畠が整備されて、水も使えるから新しいことにチャレンジしてみようかな。

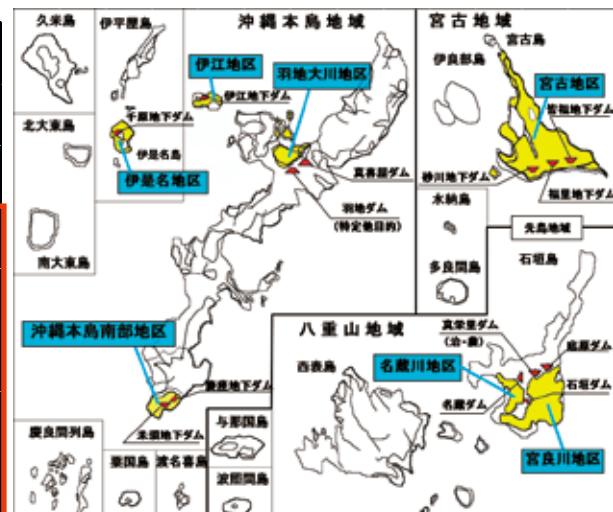


広域基盤整備計画調査

国営かんがい排水事業等により基幹的農業水利施設が整備されている大規模かつ優良な農業地域において、食料生産の重要な基盤である農業水利施設を適切に維持・更新していくことを目的に、施設の長寿命化に配慮しつつ、計画的かつ機動的に更新整備を行うための基礎調査として「広域基盤整備計画調査」を平成22年度から実施しています。

令和3年度からの調査対象は、国営事業が完了した5地区（下表赤枠参照）です。沖縄本島や離島に及ぶ広範囲な地域となるため、本調査により地域の現状分析、課題の把握、各種調査等を行い、地域の特色を活かした整備・計画につなげていきます。特に、施設の更新整備計画においては、老朽化した施設を取り壊し、新しい施設を建設するスクラップ・アンド・ビルトのみではなく、施設の長寿命化を図るストックマネジメントの取組やICT技術を活用した施設管理を取り入れる等、地域の実情に応じた最適な計画を立案します。

調査年度	関係国営地区	関係市町村
平成22年度～平成25年度	宮良川地区 ※	石垣市
	名蔵川地区 ※	石垣市
令和3年度～令和10年度	宮古地区	宮古島市
	沖縄本島南部地区	糸満市、八重瀬町
	羽地大川地区	名護市、今帰仁村
	伊是名地区	伊是名村
	伊江地区	伊江村



※ 宮良川地区、名蔵川地区については、国営石垣島地区にて更新事業実施中（着手：H26）

令和6年度は、沖縄本島南部地区を対象に、地域の概要や問題点、主要な施設及びその状況を整理するとともに機能診断調査結果に基づく長寿命化に配慮した更新整備計画を作成しました。

また、施設を管理する糸満市・八重瀬町・沖縄本島南部土地改良区を含む関係機関で構成された「広域基盤確立推進協議会」を開催し、広域基盤整備計画の策定を行いました。

令和7年度には、宮古地区の更新整備計画の見直しに向け、地区概要調査、水利用状況調査、施設管理状況調査、食料供給能力調査を行います。

(令和6年度の調査内容)

- 広域基盤整備計画の策定(沖縄本島南部地区)
 - 1)長寿命化に配慮した更新整備計画の策定
 - 2)更新整備計画書図面の作成
 - 3)概算事業費算定

(令和7年度実施予定の調査内容)

- 宮古地区を対象とし、施設の更新整備計画を策定するための各種データ等の整理



ドローンを用いて撮影した新垣ファームポンド周辺の空中写真

全体実施設計 多良間地区

多良間地区は、沖縄本島から南西に約310km離れた多良間島に広がる畑作地帯で、宮古島と石垣島のほぼ中間に位置しています。

多良間島は、山地や河川がない平坦な地形であり、最高標高地点は34mで、気候は高温多湿な亜熱帯気候に属し、平均気温は24.2℃、年間平均降水量は約2,000mmです。

多良間地区の農業は、さとうきびを中心に、かぼちゃ等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し肉用牛を飼養する畜産経営が展開されています。



農業の課題

多良間地区の一部では地表水を集めるため池が整備され、かんがい用水が確保されているものの、河川がないことから、大部分の地区の農業用水は降雨に依存しています。そのため、生産性が低い不安定な農業経営を余儀なくされ、園芸作物の導入も困難な状況であり、農業振興の大きな妨げとなっています。

農業農村整備事業により必要な時期にかん水が可能となることで、生産性の向上と農業経営の安定、園芸作物の導入、かん水労力の省力化などにつなげることを目指します。



さとうきび

現在は、雨頼りの不安定な農業。
安定的に水が確保できれば、収量も
上がるし、ゴーヤーなどの多品目の
作付けもできるのになあ・・・



かぼちゃ



ゴーヤー



にんにく

実施内容

令和5年度から全体実施設計に着手しており、施設計画や事業費の精度を高め、着工後のスムーズな工事実施に向けた調査・測量・設計業務を実施しています。令和6年度は、安全かつ安定的な地下水取水のために管井整備計画及び地下水保全管理計画（案）を策定し、新設するため池及びファームpondの基本設計を行いました。



既設ため池



地下水利用技術検討会



スプリンクラーかんがい

国営事業所への支援

土地改良総合事務所では、①設計・積算・施工に係る技術的な支援、②システムの管理・運営、③研修等の実施を通じて、国営事業所での事業推進を支援しています。

設計・積算・施工に係る技術的な支援

国営事業所の円滑な事業推進が図れるように、設計・積算・施工に関する各種基準の運用を指導とともに、建設資材価格調査や他の農政局への事例照会等により収集した情報を事業所へ提供しています。また、設計・積算に関する技術審査や技術提案の評価などに関する支援も行っています。

土地改良総合事務所による技術的な支援

- ◆設計・積算・施工に係る技術的な支援
- ◆業務のシステム化・情報の電子化
- ◆事例照会・技術資料の収集・提供
- ◆新技術の推進や環境配慮技術の情報収集・提供
- ◆資材価格調査

国営事業所によるかんがい施設の整備

- ◆国営かんがい排水事業 宮古伊良部地区（宮古島市）
《平成 21 年度～》

地下ダム 2 箇所、副貯水池 1 箇所、揚水機場 1 箇所
用水路 55 km、ファームポンド 1 箇所、吐水槽 1 箇所

- ◆国営かんがい排水事業 石垣島地区（石垣市）
《平成 26 年度～》

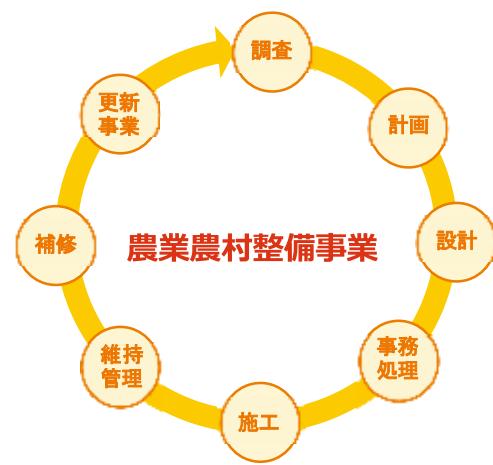
ダム（改修）5 箇所、頭首工（改修）3 箇所
用水路（新設・改修）105 km、揚水機場（新設・改修）6 箇所

農業農村整備事業総合支援システムの管理・運営

「事業総合支援システム」とは、農業農村整備事業の調査・計画段階から、事業の実施（設計・施工）、施設の維持管理、更新までのライフサイクル全体に関わる情報を統一的なフォーマットで電子化し、ネットワークを利用して効率的に交換・共有するためのシステムです。

土地改良総合事務所では、農業農村整備事業の透明性を確保し、効率化を進めるため、「事業総合支援システム」を導入し、その管理・運営を行っています。

（標準積算システム、契約事務システム、現場業務支援システム等）



農業農村整備事業のライフサイクル

技術力の向上を図る研修・講習会の実施

職員の専門的かつ実務的な知識や技術力の向上を図ることを目的に、九州農政局と連携した研修や、管内事業所及び沖縄県職員を対象とした講習会を実施しています。

【開催実績】

年度	研修名・講習名	開催時期
R 4	情報化施工技術講習会	10.18、11.2
	初任技術研修（実践）	11.8～11.11
R 5	情報化施工技術講習会	10.25
	初任技術研修（実践）	11.7～11.10
R 6	電子納品・CAD 講習会	6.13～6.14
	初任技術研修（実践）	11.12～11.15



研修の様子

国営事業完了地区への支援

国営事業完了地区のフォローアップに必要な調査や事業への取組

(1) 広域農業基盤整備管理調査

地域の農業基盤に関する情報の収集、管理及び提供並びに国営完了地区のフォローアップを実施します。

①水利状況調査

取水及び分水状況を調査し、農業用水の利用状況を把握するとともに、農業用水需要量を確認します。



流量観測実施状況

②施設管理調査

国営造成施設の維持管理等の状況を調査し、施設管理上の課題を整理します。



土地改良区等情報連絡会

③農業状況調査

水利用実態の把握を行うとともに、営農体系や生産物の流通に係る市場動向等、情報の収集・整理を行い、今後の営農改善方策を検討します。

(2) 土地改良区等との情報連絡会の開催

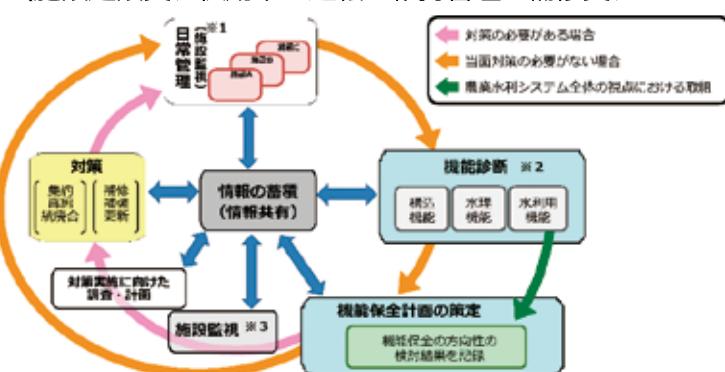
国営事業関連土地改良区等との情報交換の会議を定期的に開催しています。

農業水利施設のストックマネジメントへの取組

ストックマネジメントとは、施設の機能がどのように低下していくのか、どのタイミングで、どのような対策を取れば効率的に長寿命化できるのかを検討し、施設の機能保全を効率的に実施することを通じて、施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコスト（施設建設費、供用中の運転・維持管理・補修費、廃棄額の合計額）の低減を図る取組です。

実施サイクル

ストックマネジメントは、①管理者による適切な日常管理、②定期的な機能診断、③施設の劣化予測や工法等の比較検討による機能保全計画の作成、④同計画に基づく対策の実施、⑤これらの課程を通じて得られる施設状態や対策履歴等のデータの蓄積と利用等のサイクルを繰り返すことにより実施しています。



※1 日常管理の一環として継続的に行う施設監視（結果は機能診断・機能保全計画策定等に活用）

※2 構造機能、水理機能は、水利用機能の発揮を支える関係にある

※3 機能保全計画の精度を高め、適期に対策を実施するために継続的に行う施設監視

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

国営造成水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図ることを目的に、以下の事業を実施しています。

①機能保全計画策定事業

施設の劣化状況等を調べる機能診断を行い、施設の機能を保全するために必要な対策方法を定めた機能保全計画を策定し、施設管理者に対する指導助言を行う事業です。

令和6年度においては、国営かんがい排水事業「宮古島地区」の取水施設等の機能診断及び機能保全計画策定を行いました。



コンクリートの健全度調査

②技術高度化事業

機能の適切な保全に必要となる技術を現地での実践を通して向上させ、ストックマネジメント技術の高度化を図る事業です。

令和6年度においては、国営かんがい排水事業「沖縄本島南部地区」の取水施設の機能を確認するため、井戸の状況や揚水と地下水の関係性を確認しました。



地下水位測定状況

みどり 水土里の相談室とホームドクター

土地改良総合事務所では、沖縄局管内の事業の推進に資するため、農業農村整備事業や土地改良施設管理等に関することについて、農家、土地改良区及び地方自治体等からの相談や問い合わせに応じる「水土里の相談室」を設置しています。

【相談内容】

- ・農業農村整備事業に関すること
- ・土地改良区の運営に関すること
- ・農業水利施設の管理操作に関すること
- ・その他

国営かんがい排水事業完了地区の土地改良区等と継続的、定期的な情報交換、現地調査を行い、効果的な最適整備計画のフォローアップ、関係機関との信頼関係の構築及び今後の国営事業の案件形成を図るホームドクターの活動を行っています。

みどり 水土里の広報室

当事務所では、「水土里の広報室」を設置し、農業農村整備事業の役割や重要性を県民の皆さんに広く発信する活動を実施しています。

学校教育との連携

① 夏休み野外学習会

糸満市及び八重瀬町の小学生と保護者を対象に、地下ダムやファームポンドなどのかんがい施設の見学を行う野外学習会を実施しています。



慶座地下ダムの見学



集合写真

② 出前授業

農業の現状や農業用水の必要性、地下ダムやファームポンドなどのかんがい施設が果たす役割等を職員が分かりやすく説明する出前授業を実施しています。土地改良区とも連携し、施設見学も行っています。

※令和6年度は、伊是名村・伊江村・多良間村の小学校4年生を対象に実施



伊是名小学校



伊江小学校・西小学校



多良間小学校

『水土里(みどり)』とは、

水：私たちの命を支え、食べ物を作り出すために欠くことのできない、清い流れの農業用水

土：緑豊かな農地

里：農家の人々が暮らす豊かな自然や文化のあふれる美しい農村

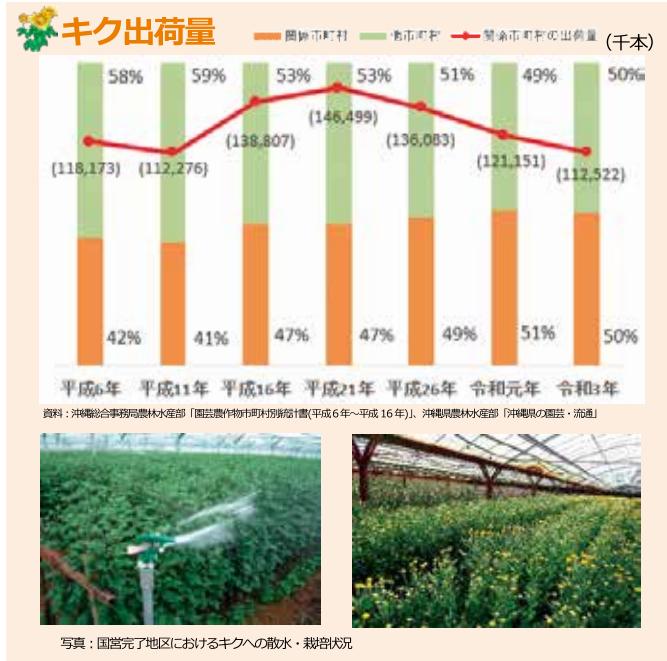
これらを象徴する「水」「土」「里」を並べ、「みどり」と呼んでいます。



～ 国営完了地区において、高収益作物の導入が進む ～

国営完了地区的関係市町村における農産物（キク、マンゴー）の生産量の沖縄県内に占める割合が、年々増加しています。沖縄の温暖な気候を活かし、農業農村整備事業による水あり農業の実現により、高収益作物への転換が進んでいます。

（※国営完了地区関係市町村：伊是名村、伊江村、今帰仁村、名護市、糸満市、八重瀬町、宮古島市、石垣市）



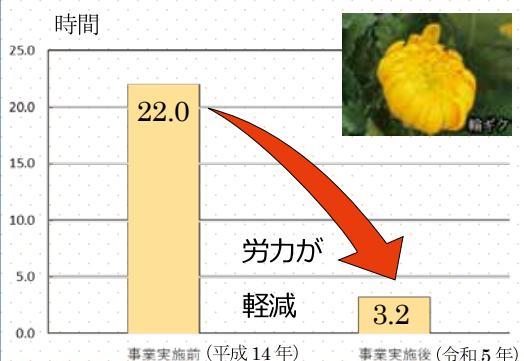
～ 事後評価により土地改良事業の効果をPR ～

事後評価において、土地改良事業による農業用水の安定確保やかん水時間の短縮等の効果のほか、波及的効果を把握し、事業効果のPRにも努めています。

伊江地区では、地下ダム等のかんがい施設が整備され、かん水労力の軽減が図られたことで若手後継者の確保につながり、また、県内外の修学旅行生を対象に農業体験ができる民泊の取組も始まり、農業を含む地域経済の活性化に貢献しています。

伊江島のきく栽培

きくの年間かん水所要時間（10a当たり）



都市と農村の交流促進

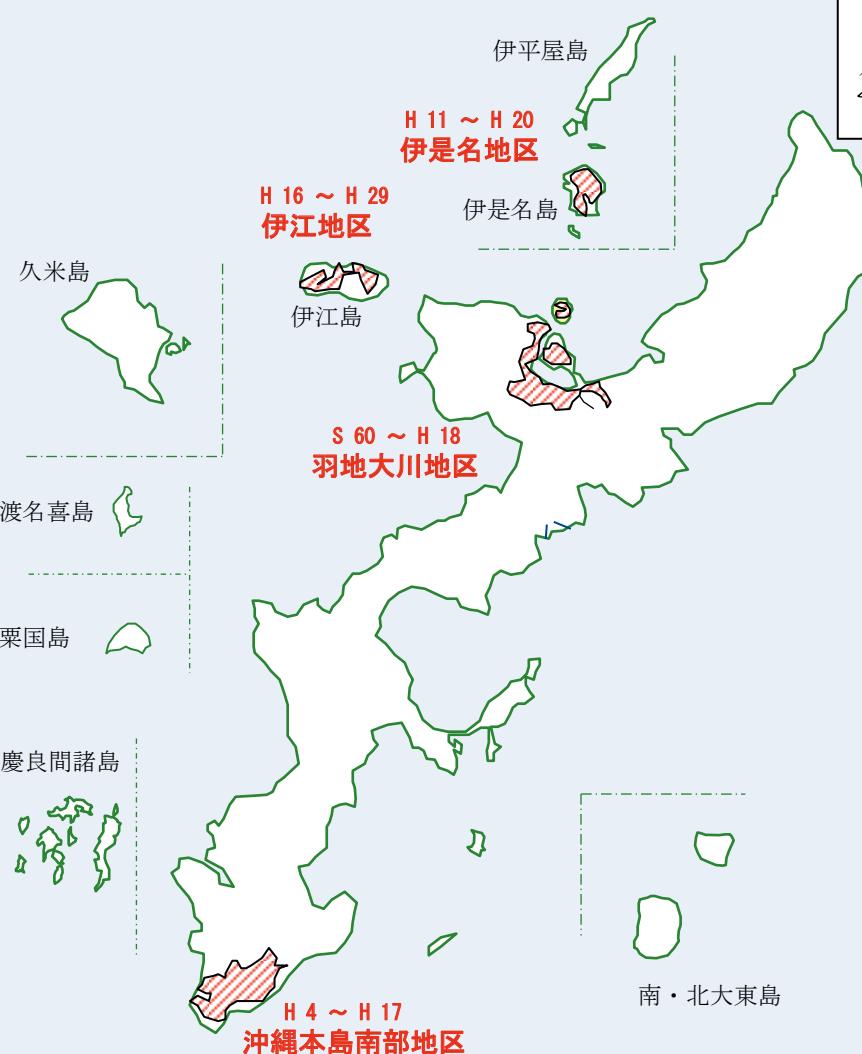


写真：修学旅行生を対象とした農業体験の様子

※詳細は、沖縄総合事務局ホームページ（国営かんがい排水事業「伊江地区」のPDF）をご覧下さい。
<https://www.ogb.go.jp/nousui/nns/c3>

沖縄総合事務局管内 国営事業地区位置図

沖縄本島地域



宮古地域



八重山地域



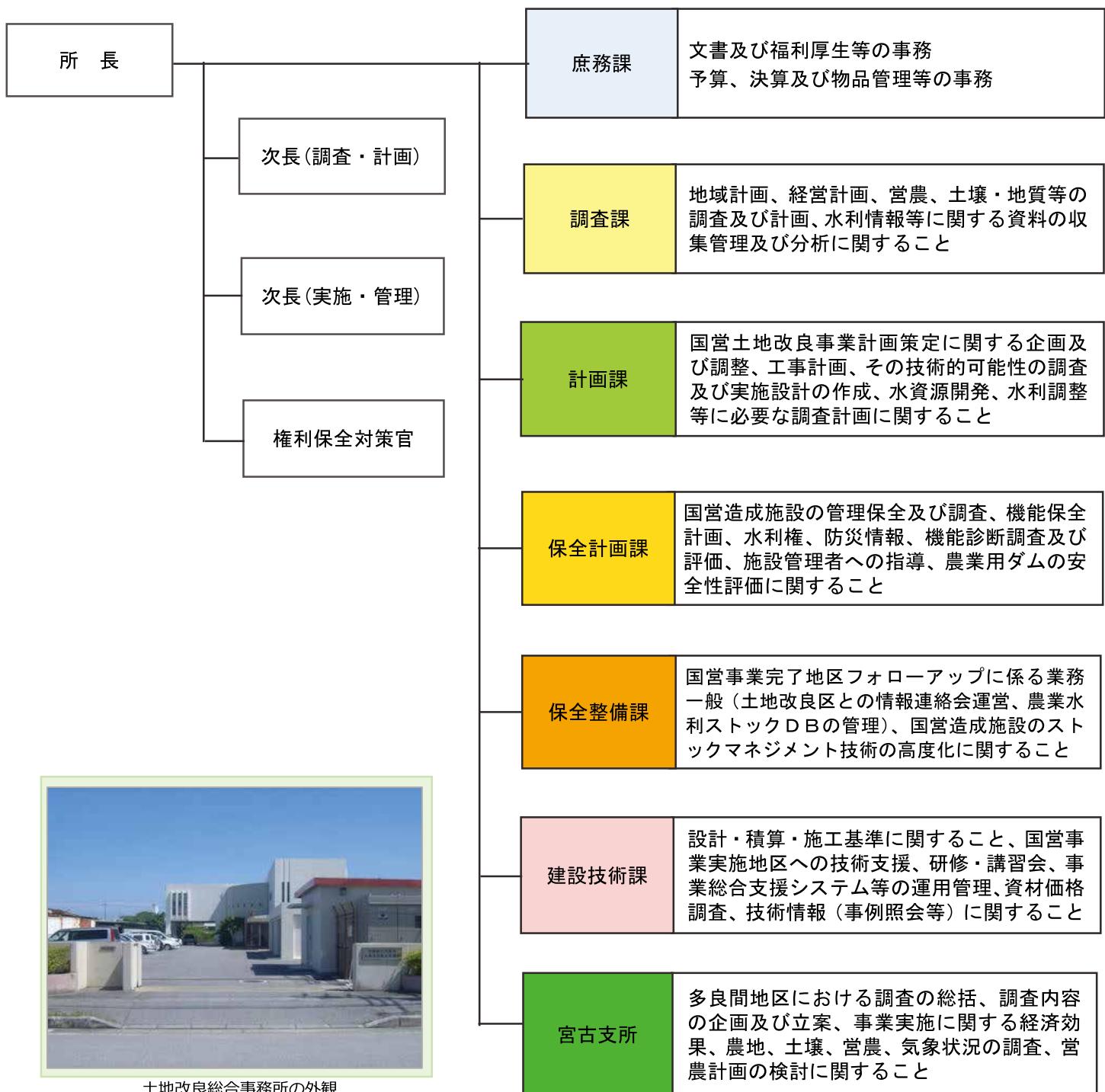
沖縄地域



土地改良総合事務所 組織概要

土地改良総合事務所は、昭和46(1971)年に八重山・宮古地域を襲った大干ばつを契機として、昭和47(1972)年の沖縄の本土復帰とともに石垣市内に設置された沖縄総合事務局「石垣島農業開発調査事務所」を前身としています。

平成3(1991)年10月、国営土地改良事業の調査、計画、事業実施支援、管理について一貫して取り組む総合的な事業推進組織である「土地改良総合事務所」として改組し、那覇市内に移転しました。平成14(2002)年9月、豊見城市に新庁舎を建築し現在に至っています。



パンフレットに関するお問い合わせ

土地改良総合事務所

〒901-0232

沖縄県豊見城市字伊良波 622

TEL:098-856-6868

FAX:098-856-6962

土地総 HP



土地改良総合事務所宮古支所

〒906-0013

沖縄県宮古島市平良字下里 108-11

平良港ターミナルビル 3F 303 号

TEL:0980-79-5087

FAX:0980-79-5088



【表紙の説明】

「水や黄金」とは、しばしば干ばつに見舞われる沖縄においては、水は黄金にたとえられるほど貴重なものという意味であり、農業農村整備事業の重要性を表現しています。

<写真>

上段：スプリンクラーとサトウキビの苗（宮古島市）（左）、稻（中央）、散水体験（右）

中段：ドラゴンフルーツ（左）、電照キク（伊江村）（中央）、サヤインゲン（右）

下段：パッションフルーツの花（左）、パパイヤ（中央）、宮古吐水槽（右）

（令和7年3月）